



ここまで進んだ iPS細胞の研究最前線

日本人のノーベル賞受賞で広く名前が知れわたったiPS細胞。その後、さまざまな研究が進められ、今まで難病とされてきた疾病に新たな治療の道を切り拓く革新的な技術も登場しつつあります。

本講演では、iPS細胞の研究の最前線でご活躍になられている講師の経験をもとに「iPS細胞とは何か」という基礎的な内容から「iPS細胞がもたらす未来の医療」まで、研究者としての苦労話も交えながらわかり易くお話し頂きます。

参加費
無料
定員150名

講師

京都大学iPS細胞研究所
臨床応用研究部門 准教授 櫻井英俊



1973年 岐阜県生まれ。1998年 名古屋大学医学部卒業後、名古屋掖済会病院 内科医員として勤務。2001年から名古屋大学大学院に進学し、神戸理化学研究所にて学外研究。医学博士取得後、名古屋大学医学部、京都大学再生医科学研究所にて研究員として研究。2010年より京都大学iPS細胞研究所講師、2015年より現職。iPS細胞技術を活用し、難治性筋疾患に対する新規治療法を開発すべく研究に励んでいる。

日時

2018年

11月10日(土)

17:00~18:15 (開場 16:30)

電気ビル共創館 3F 大会議室

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82

tel. 0120-222-084

【お申し込み方法】

QRコードを読み取り
ご登録ください。

